

出雲商工会議所管内 業種別景況（令和元年7月～9月期）

《全 業 種》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				前期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				今期(令和元年7月～9月期)と比べた 来期(令和元年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	38.7	32.3	29.0	9.7	33.9	33.9	32.3	1.6	40.3	37.1	22.6	17.7
2 採 算	24.6	55.7	19.7	4.9	23.3	56.7	20.0	3.3	29.5	49.2	21.3	8.2
3 仕 入 単 価	37.1	61.3	1.6	35.5	27.9	72.1	0.0	27.9	52.5	45.9	1.6	50.8
4 従 業 員 数					5.1	88.1	6.8	△ 1.7	12.1	81.0	6.9	5.2
5 資 金 繰 り					10.5	82.5	7.0	3.5	10.7	82.1	7.1	3.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		24.6	57.4	18.0		6.6		36.1	55.7		8.2	27.9		4.9

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	22.6	11.3	11.3	45.2	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	11.3	12.9	6.5	30.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	6.5	6.5	1.6	14.5	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	4.8	4.8
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	1.6	1.6	4.8	8.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	3.2	3.2	8.1	14.5
4 原 材 料 高 及 び 不 足	8.1	11.3	12.9	32.3	11 需 要 の 停 滞	12.9	6.5	9.7	29.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	1.6	4.8	1.6	8.1	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	16.1	14.5	4.8	35.5	13 そ の 他	8.1	1.6	1.6	11.3
7 人 件 費 の 増 加	4.8	6.5	8.1	19.4	無 回 答	3.2	19.4	24.2	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

《 製 造 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				前期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				今期(令和元年7月～9月期)と比べた 来期(令和元年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	55.6	11.1	33.3	22.2	33.3	11.1	55.6	△ 22.2	66.7	33.3	0.0	66.7
2 採 算	33.3	44.4	22.2	11.1	22.2	44.4	33.3	△ 11.1	55.6	33.3	11.1	44.4
3 仕 入 単 価	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	11.1	77.8	11.1	0.0
4 従 業 員 数	/	/	/	/	11.1	88.9	0.0	11.1	11.1	77.8	11.1	0.0
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	0.0	85.7	14.3	△ 14.3	28.6	71.4	0.0	28.6

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		33.3	44.4	22.2		11.1		22.2	77.8		0.0	22.2		11.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	22.2	0.0	22.2	44.4	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	22.2	44.4	0.0	66.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	11.1	11.1
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	11.1	0.0	11.1	10 事 業 資 金 の 確 保 難	11.1	0.0	0.0	11.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	0.0	22.2	22.2	11 需 要 の 停 滞	0.0	33.3	0.0	33.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	11.1	0.0	11.1	22.2	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	22.2	0.0	11.1	33.3	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	11.1	11.1	0.0	22.2	無 回 答	0.0	0.0	22.2	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 人手不足。求人しているが応募ない。
- ・ 食品は軽減税率8%のままであるが、仕入が10%になったものもある。値上げが難しい相手もあり収支がどうなるかまだ分からない。

《建設業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				前期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				今期(令和元年7月～9月期)と比べた 来期(令和元年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	62.5	25.0	12.5	50.0	25.0	37.5	37.5	△ 12.5	25.0	50.0	25.0	0.0
2 採算	25.0	62.5	12.5	12.5	12.5	62.5	25.0	△ 12.5	25.0	50.0	25.0	0.0
3 仕入単価	50.0	50.0	0.0	50.0	37.5	62.5	0.0	37.5	75.0	25.0	0.0	75.0
4 従業員数					14.3	85.7	0.0	14.3	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					28.6	71.4	0.0	28.6	14.3	85.7	0.0	14.3

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		28.6	71.4	0.0		28.6		57.1	42.9		0.0	57.1		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	12.5	0.0	12.5	25.0	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	12.5	12.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	0.0	12.5	12.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	12.5	12.5
4 原材料高及び不足	12.5	25.0	0.0	37.5	11 需要の停滞	12.5	0.0	12.5	25.0
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	50.0	37.5	0.0	87.5	13 その他	0.0	12.5	0.0	12.5
7 人件費の増加	12.5	0.0	12.5	25.0	無回答	0.0	25.0	25.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 消費税増税による需要の停滞と建設業全体の人手不足は経営に大きく影響している。
- ・ 施工する職人不足により着工まで時間がかかってしまう。原材料の値上げがお客様の判断のさまたげになっている。
- ・ 外注大工の高齢化。

《卸 ・ 小 売 業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				前期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				今期(令和元年7月～9月期)と比べた 来期(令和元年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	31.6	36.8	31.6	0.0	36.8	36.8	26.3	10.5	36.8	31.6	31.6	5.3
2 採 算	27.8	50.0	22.2	5.6	22.2	61.1	16.7	5.6	27.8	50.0	22.2	5.6
3 仕 入 単 価	26.3	68.4	5.3	21.1	21.1	78.9	0.0	21.1	61.1	38.9	0.0	61.1
4 従 業 員 数	/	/	/	/	5.3	84.2	10.5	△ 5.3	22.2	77.8	0.0	22.2
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	15.8	78.9	5.3	10.5	5.9	82.4	11.8	△ 5.9

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.8	73.7	10.5		5.3		21.1	73.7		5.3	15.8		5.6

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	26.3	10.5	15.8	52.6	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	10.5	10.5	21.1
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	21.1	0.0	21.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	5.3	5.3
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	5.3	0.0	10.5	15.8	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.3	5.3	10.5	21.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	15.8	5.3	10.5	31.6	11 需 要 の 停 滞	26.3	0.0	0.0	26.3
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	10.5	0.0	10.5	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	15.8	5.3	21.1	13 そ の 他	15.8	0.0	0.0	15.8
7 人 件 費 の 増 加	5.3	5.3	15.8	26.3	無 回 答	0.0	15.8	15.8	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 景気感が悪く、全体に動きが悪い。オリンピック、外国人観光客対応のところは活発。
- ・ 消費増税による価格転嫁ができていない。
- ・ 消費税増税もあり消費の落ち込みが考えられる。軽減税率導入で店側だけでなくお客も混乱しているのではないかな。
- ・ 前回の様なかけ込み需要が伸びなかった。

《サービス業》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				前期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				今期(令和元年7月～9月期)と比べた 来期(令和元年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	21.4	50.0	28.6	△ 7.1	50.0	42.9	7.1	42.9	35.7	42.9	21.4	14.3
2 採算	21.4	64.3	14.3	7.1	42.9	50.0	7.1	35.7	28.6	57.1	14.3	14.3
3 仕入単価	42.9	57.1	0.0	42.9	35.7	64.3	0.0	35.7	42.9	57.1	0.0	42.9
4 従業員数	/	/	/	/	0.0	92.3	7.7	△ 7.7	14.3	71.4	14.3	0.0
5 資金繰り	/	/	/	/	7.7	84.6	7.7	0.0	14.3	78.6	7.1	7.1

注) ↑ 増加・上昇・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		35.7	57.1	7.1		28.6		64.3	28.6		7.1	57.1		7.1

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	28.6	21.4	7.1	57.1	8 設備店舗の狭小・老朽化	14.3	7.1	0.0	21.4
2 大企業進出による競争激化	21.4	0.0	0.0	21.4	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	7.1	7.1
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	7.1	7.1	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	7.1	7.1
4 原材料高及び不足	7.1	0.0	0.0	7.1	11 需要の停滞	0.0	0.0	14.3	14.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	7.1	0.0	7.1	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	7.1	14.3	7.1	28.6	13 その他	14.3	0.0	7.1	21.4
7 人件費の増加	0.0	14.3	0.0	14.3	無回答	7.1	35.7	42.9	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 常連が来る回数が減っている
- ・ 外国人労働者の対応。外国人労働者の受入れを本格的に検討しなければならない
- ・ 競合の進出。全国チェーンの出店。

《 飲 食 業 》

1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(平成30年7月～9月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				前期(平成31年4月～6月期)と比べた 今期(令和元年7月～9月期)の状況				今期(令和元年7月～9月期)と比べた 来期(令和元年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	41.7	25.0	33.3	8.3	16.7	33.3	50.0	△ 33.3	41.7	33.3	25.0	16.7
2 採 算	16.7	58.3	25.0	△ 8.3	9.1	63.6	27.3	△ 18.2	16.7	50.0	33.3	△ 16.7
3 仕 入 単 価	41.7	58.3	0.0	41.7	45.5	54.5	0.0	45.5	66.7	33.3	0.0	66.7
4 従 業 員 数					0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	90.0	10.0	△ 10.0
5 資 金 繰 り					0.0	90.9	9.1	△ 9.1	0.0	90.9	9.1	△ 9.1

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転 — 不変 ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		16.7	33.3	50.0		-33.3		25.0	50.0		25.0	0.0		0.0

2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	16.7	16.7	0.0	33.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	25.0	8.3	8.3	41.7
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	8.3	0.0	0.0	8.3	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	8.3	16.7
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	33.3	33.3	66.7	11 需 要 の 停 滞	16.7	8.3	25.0	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	25.0	8.3	0.0	33.3	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	8.3	8.3	無 回 答	8.3	16.7	16.7	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 価格の値上げがしにくい。増税の影響があるのか、停滞しているように感じる。
- ・ 消費税の引き上げで売上が減少している。
- ・ 商店街に飲食店が増え、雰囲気が変わった。明るくなった。